

目標達成計画

作成日: 平成 24年 1月16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が十分に身につけているとは言えない。	火災、水害、地震ほか昼夜の災害を想定した数多くの訓練を実施し、全職員が災害に対応できる知識・技能を習熟していく。	水害、地震ほかの災害に対しては、行政ほかの指導を受け、昼夜の災害を想定した訓練を実施し、知識・技能を習熟していく。	12ヶ月
2	4	本員として役場職員、地区役員、家族代表等が出席し、質問・意見・助言を得てサービスの向上に努めているが、より幅広い分野からの委員選出が望ましい。	消防関係者、民生委員、ボランティアの代表ほか幅広い分野から委員を選出していく。	地域の消防関係者、民生委員の方にも参加して、いただき助言を得てサービスの向上に努めていく。	12ヶ月
3	1	事業所開所時、全職員で理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践しているが、事業所の状況変化などによる見直しが行われていない。	理念が事業所の現状に合っていること、又地域密着型サービスの意識を踏まえたものになっていること。	開所から4年が経過し、理念が事業所の現状にあっているか、地域密着型サービスの意識を踏まえたものになっているかほか職員で話し合い検討していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。